



青森県感染症発生情報 (2017年第42週)

I 第42週の発生動向 (2017/10/16~2017/10/22)

1. 手足口病については、上十三保健所管内で**警報**が発令されました。むつ保健所管内では**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、五所川原保健所管内で定点当たり報告数が前週より減少しましたが、県全体の報告数の半数を五所川原保健所管内からの報告が占めており、定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。
3. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に上十三保健所管内では定点当たり報告数が2.67に増加し、注意報レベルの基準値(3)に近づいていますので注意が必要です。
4. 青森市保健所管内でインフルエンザウイルスAH1pdm09型が検出されました。
インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はA型16人でした。インフルエンザは、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がりますので、今後の発生動向に注意が必要です。

II 第42週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	15	1.15			1	0.07							16	0.25	16	
小児科	RSウイルス感染症	3	0.38	12	1.33	16	1.60	8	1.60	2	0.33	6	1.50	47	1.12	0	
	咽頭結膜熱	1	0.13	7	0.78	2	0.20	1	0.20					11	0.26	8	
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	6	0.75	9	1.00	9	0.90	3	0.60	4	0.67	4	1.00	35	0.83	10	
	感染性胃腸炎	20	2.50	16	1.78	19	1.90	12	2.40	2	0.33	11	2.75	80	1.90	2	
	水痘					1	0.10	5	1.00			3	0.75	9	0.21	-1	
	手足口病	8	1.00	7	0.78	23	2.30	9	1.80	39	6.50	10	2.50	96	2.29	7	
	伝染性紅斑			1	0.11	1	0.10							2	0.05	-6	
	突発性発しん			2	0.22	12	1.20	1	0.20				1	0.25	16	0.38	2
	百日咳															0	
	ヘルパンギーナ	3	0.38	3	0.33	5	0.50	12	2.40			1	0.25	24	0.57	-2	
流行性耳下腺炎	3	0.38	1	0.11	13	1.30	2	0.40	16	2.67	1	0.25	36	0.86	13		
眼科	急性出血性結膜炎															0	
	流行性角結膜炎	1	0.50			1	0.50	1	1.00					3	0.27	2	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															-1	
	マイコプラズマ肺炎			2	2.00	1	1.00			2	2.00	2	2.00	7	1.17	2	
	無菌性髄膜炎															0	

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

侵襲性肺炎球菌感染症 (五類全数把握対象疾患)

侵襲性感染とは本来は菌が存在しない部位(無菌部位)から菌が検出される感染症のことで、

肺炎球菌は主に気道の分泌物に含まれる細菌で、唾液などを通じて飛まつ感染します。この菌が髄液や血液などの無菌部位から検出された場合は侵襲性肺炎球菌感染症となり、髄膜炎、敗血症、骨髄炎などが引き起こされます。

小児及び高齢者を中心とした発症が多く、青森県における過去3年間の患者報告数は50人で、60歳以上がおおよそ7割を占めています(図)。

侵襲性肺炎球菌感染症の予防には**ワクチン(定期接種)**が有効です。肺炎球菌に対するワクチンは2種類あり、年齢に応じたワクチンとスケジュールがあります。乳幼児の場合は、生後2か月から接種を開始することができ、接種回数は開始時期によって異なります。高齢者の場合は、主に65歳以上で、該当する生年月日の方が定期接種を1回受けることができます。65歳以上の方は、機会を逃さないようご注意ください。定期接種の詳細については、お住いの市町村にご相談ください。

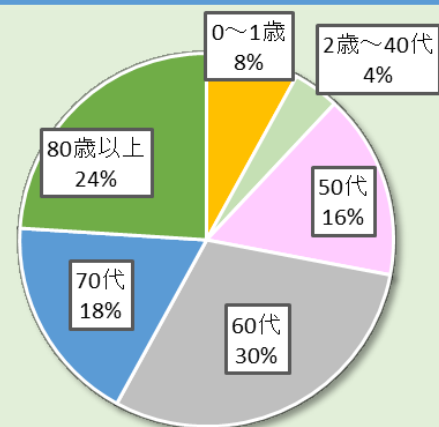


図 青森県における年齢別患者報告数割合 (2014~2016年)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [肺炎球菌感染症\(小児\)\(厚生労働省HP\)](#)

☞ [肺炎球菌感染症\(高齢者\)\(厚生労働省HP\)](#)

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前2人、八戸市2人、五所川原1人（2017年計：247人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：青森市3人（2017年計：31人）
- ・つつが虫病（四類全数把握対象疾患）：上十三1人（2017年計：11人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2017年計：57人）

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

上気道炎患者（咽頭ぬぐい液、9/26）・・・パラインフルエンザウイルス1型：八戸市1人
 手足口病患者（咽頭ぬぐい液、9/27）・・・HSV-1：八戸市1人
 インフルエンザ患者（鼻汁、10/17）・・・インフルエンザウイルス AH1pdm09：青森市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2017年第39週～2017年第42週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H29.9.25 ~ H29.10.1		腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	
40	H29.10.2 ~ H29.10.8	梅毒1人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症2人			
41	H29.10.9 ~ H29.10.15	E型肝炎1人	レジオネラ症1人				
42	H29.10.16 ~ H29.10.22	腸管出血性大腸菌 感染症3人	梅毒1人			つつが虫病1人	

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2017年第39週～2017年第42週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
39	H29.9.25 ~ H29.10.1	1	2	1		1	2
40	H29.10.2 ~ H29.10.8	3	1	2	3		
41	H29.10.9 ~ H29.10.15	3	2				
42	H29.10.16 ~ H29.10.22	1	2	2	1		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第41週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	17785	7	121	3391	31	13	253	228	22	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	8	1	3	81	2	3	114	205	283	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	1	3	47	18	1	1367	35	845	231	1281

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	554	10	158	430	1085	46	285	23	2493	243

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1	4465	105	104	66	75	188	19

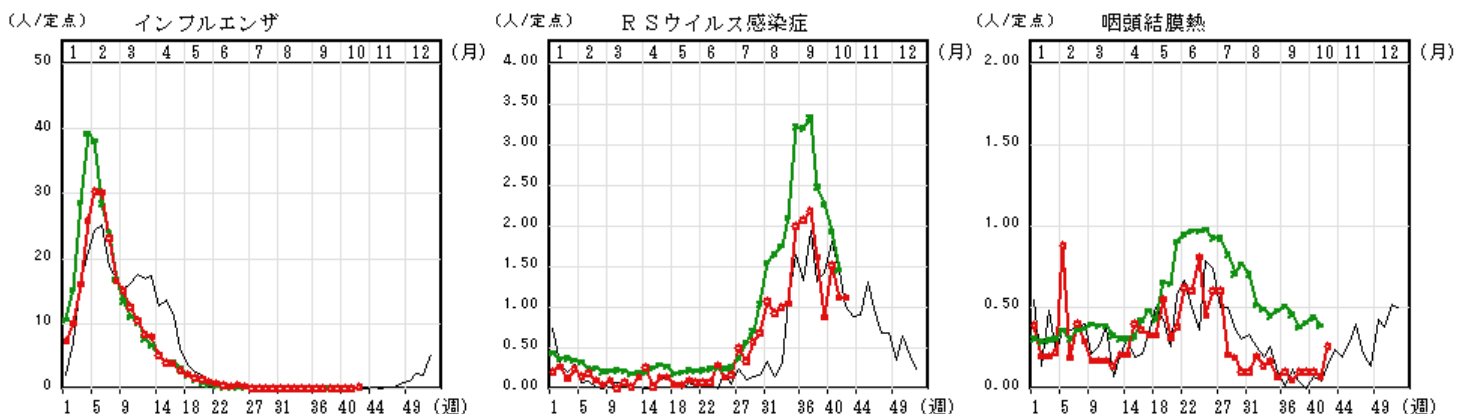
青森県（2017年第1週～2017年第42週までの累計）

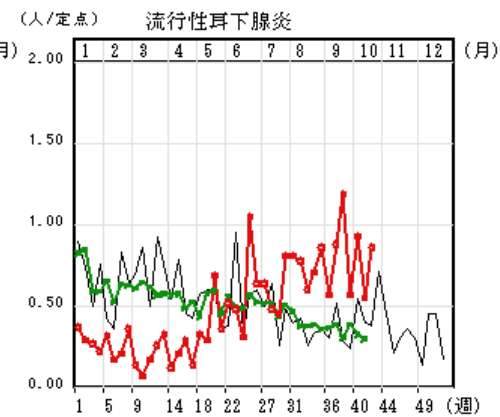
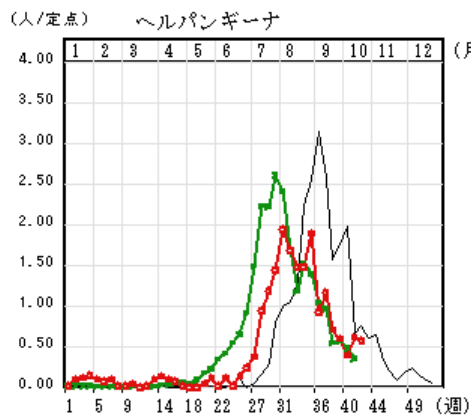
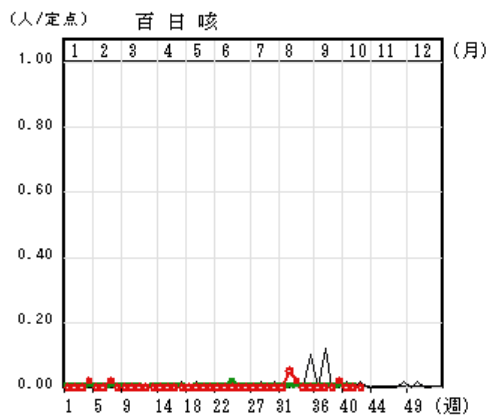
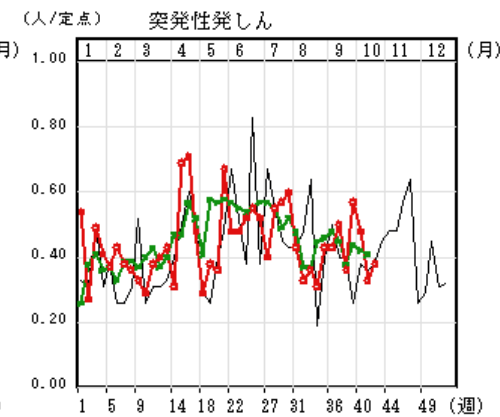
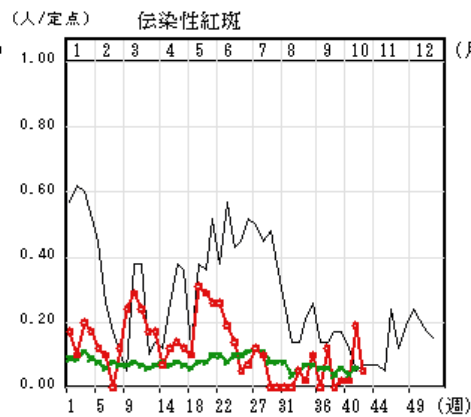
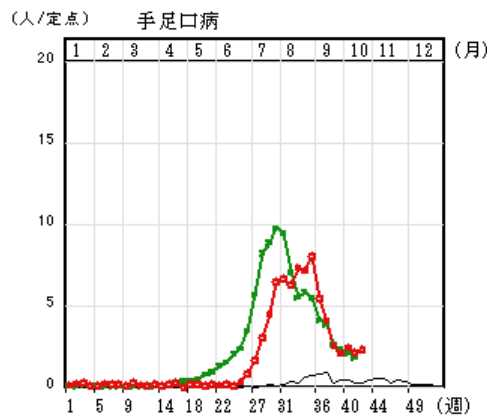
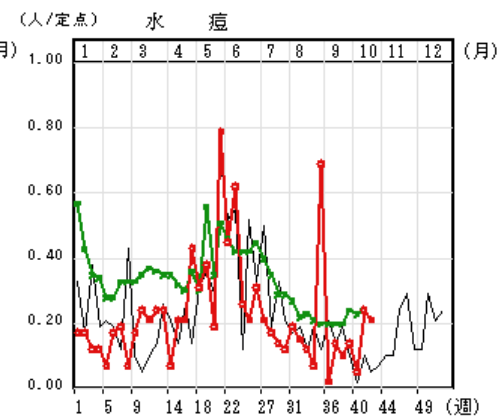
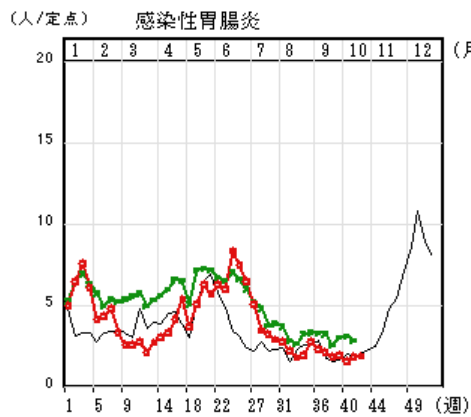
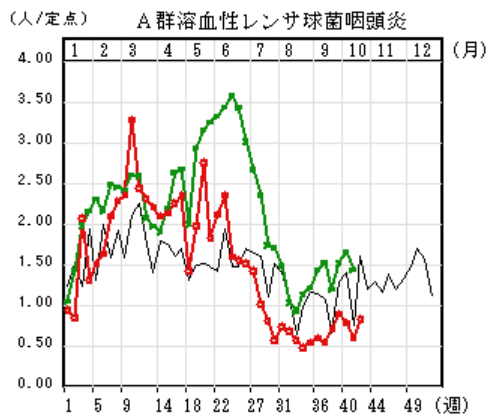
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	247	31	7	2	11	1	8	4	16	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	1	8	1	57	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第42週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国

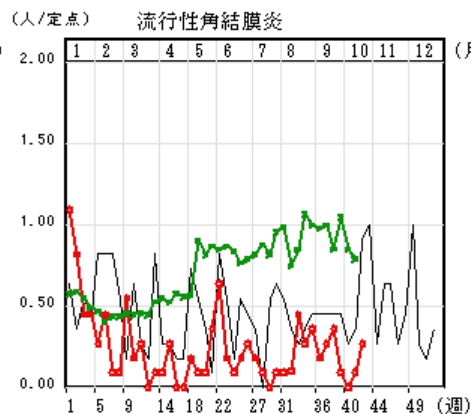
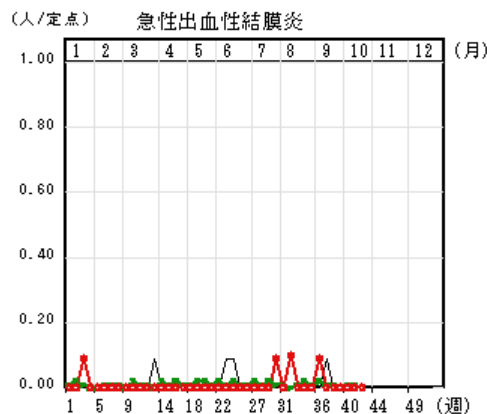




Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第42週、ただし全国は前週)

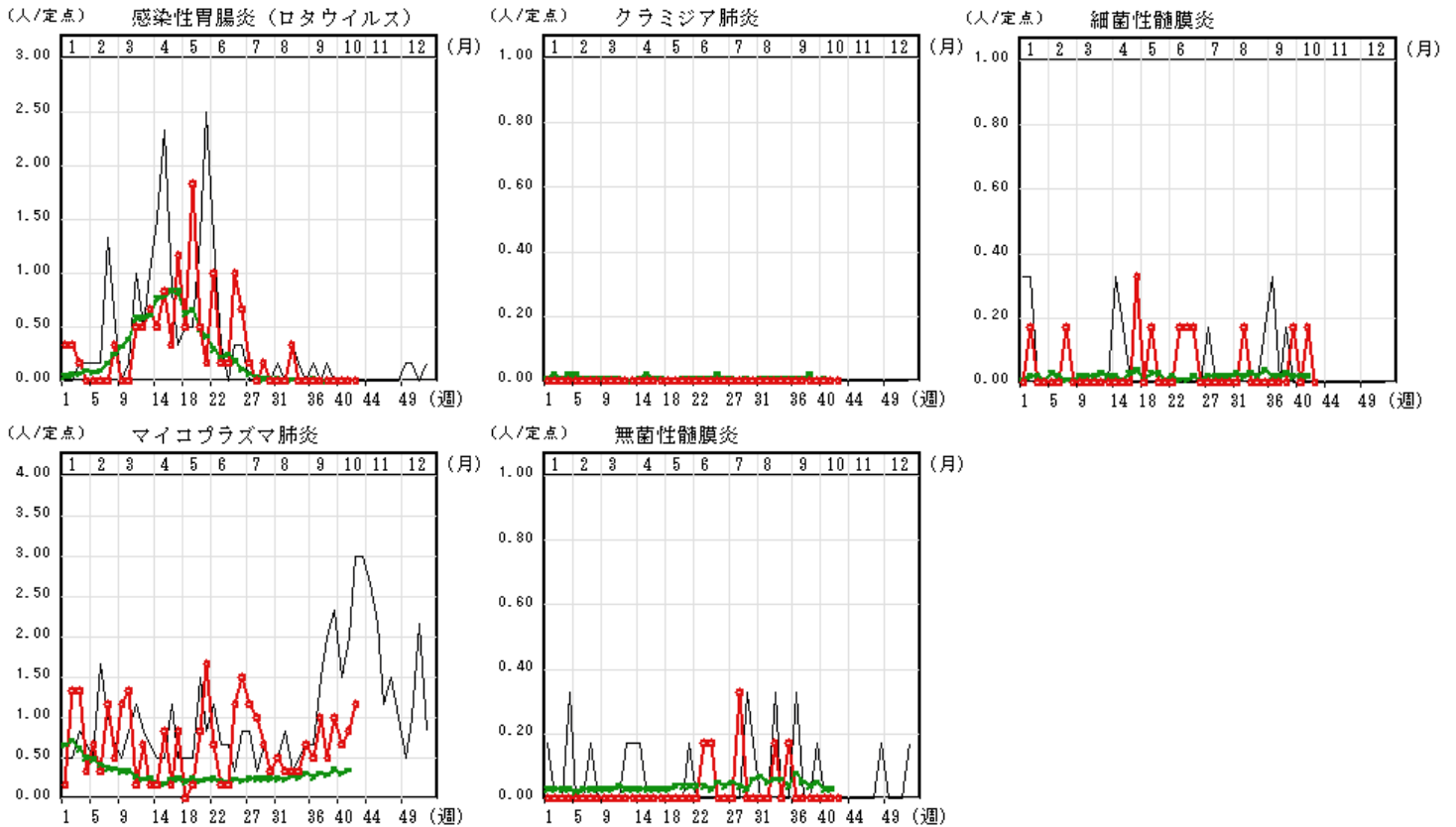
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、

×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第42週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第42週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	40週	41週	42週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	7
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	0	0	0	134
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	10
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	0	0	0	227